

# 大阪城

2023  
7/24  
(月)  
14373  
号

全港  
西成  
分会

2247  
6647-  
4947

全国的に梅雨が明けきている。近畿地方は  
7/20(木)明け、昨年よりはる日早く。平年比では  
1日遅かった。自然のリズムは毎年くりかえされ  
ていて、関西は梅雨明けは7月20日ごろのようだ。  
35度以上の猛暑がおそろってきて、熱中症と増え  
てきている。新型コロナウイルスとインフルエンザに気を付け  
て、夏を越えていきたいものです。

地球は、ウクライナ戦争によって、多極化の地球に  
おいての、拡散分散化の流れが目に見える形にな  
ってきている。一極がくずれて、多極化にむかっている。  
この大河の流れの中で、どうしていくか、だろう。

コンピュータ、デジタル、AI(人工頭脳)など物理、  
科学での革命的変化が、底のところまで多極化を  
イオニスしている。一極の元締だったアメリカでも、分断  
対立が激しくなり、采年11月にむけて、大統領選挙  
は、内戦的状況になってきている。ウクライナ戦争も  
同じぐらいアメリカ国内は熱くなら、こくたろう。

近場では、アベノ強は去り、安倍派(100人)そのものも、  
分散・拡散になっていき、自民・公明の共闘もいざ  
変化することは、法則的にきけられない。太陽の光で  
焼かれた1ヶ月半がすぎ去ると、目に見える風景  
は、だいたい変わった姿になっているのかもしれません。

大阪万博。マスコミ各社が「だいじょうぶか」「黄信号」と報じるようになっていますが、会場とつなく地下鉄が連結したというニュース。地下での作業が目立たなかったようですが、これで作業関係の人とモノの輸送が拡大するかと思いましたが 開業は博覧会に合わせてのようなので、会場作りはやっぱりまにあいそうにないようです。

## 大阪メトロ「夢洲延伸」トンネルつながった！

### 中央線から万博会場までの「最終区間」到達 2025年開業

大阪メトロは2023年6月21日(水)、万博会場へのアクセス新線として整備中の中央線「夢洲延伸」(北港テクノポート線)区間について、コスモスクエア駅から海底を経て夢洲人工島の夢洲駅に至るトンネルが繋がったと発表しました。

中央線は大阪港駅から海底トンネルを越えて、南港・咲州のコスモスクエアが終点です。そこから先は新交通システムの「ニュートラム」が走っています。延伸部は中央線が北西へ進路を変え、もう一度海底トンネルで別の人工島「夢洲」へ向かうものです。延伸距離は3.2kmです。

これまで、海底をくぐる開削トンネルと沈埋トンネルが完成済み。残り区間として、夢洲の地下をシールドトンネルで掘削していました。今回、それが貫通を迎えたのです。

延伸開業予定は、大阪・関西万博が開幕する2025年。あとは夢洲駅の工事が本格化していきます。ちなみに夢洲からさらに北上して舞洲・桜島方面へ延伸する計画がありますが、こちらは休止状態です。  
乗り物ニュース 2023-06-21

ことし最高の暑さのピーク襲来の警告

命にかかわる暑さです。